

2023年11月28日

各位

三井住友信託銀行株式会社

サステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について
(ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社)

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社(代表取締役社長:藤田 元宏、以下「U.S.M.H」)との間で、ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)(※1)等が策定した「サステナビリティ・リンク・ローン原則」および環境省が定めた「サステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」(以下「サステナビリティ・リンク・ローン原則等」)に則したシンジケーション方式の「サステナビリティ・リンク・ローン」の融資契約(以下「本件」)を組成いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローンは、借り手の経営戦略に規定されているサステナビリティ目標と整合した「キー・パフォーマンス・インディケーター(以下「KPI」)」と「サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(以下「SPTs」)」を設定し、貸付条件とSPTsに対する借り手のパフォーマンスとを連動させ、SPTs達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指すものです。

本件は、株式会社日本格付研究所(代表取締役社長:高木 祥吉)より、サステナビリティ・リンク・ローン原則等への適合性および設定したKPIとSPTsの整合性について第三者意見(※2)を取得しています。

当社では、サステナビリティ・リンク・ローンなどのサステナビリティに関するソリューションの提供により、SDGs達成に資するお客さまのさまざまな事業活動を支援するとともに、お客さまの中長期的な企業価値の向上に貢献することを引き続き目指していきます。

<U.S.M.Hについて>

U.S.M.Hは、首都圏に店舗を展開する株式会社マルエツ、株式会社カスミ、マックスバリュ関東株式会社の3社のスーパーマーケットの共同持ち株会社であり、事業活動を通じて生じる環境負荷を低減し、次世代に持続可能な循環型社会を引き継ぐことを目指しています。マテリアリティとして特定した「カーボンニュートラルの実現」と「廃棄物の削減と再生利用の推進」に向けた取り組みを進めており、電気使用によるCO₂排出量の削減目標と食品廃棄物排出量の削減目標を本件のSPTsとしています。

<本件(シンジケートローン)の概要>

契約締結日	2023年11月28日
アレンジャー兼エージェント	三井住友信託銀行株式会社

< KPI および SPTs の概要 >

本件は、以下の KPI と SPTs を設定しています。

KPI	SPTs	SDGs	
電気使用による CO ₂ 排出量	2025 年度の電気使用による CO ₂ 排出量を 2020 年度対比で 34%以上削減すること		
食品廃棄物排出量 (食品廃棄物発生量より食品廃棄物リサイクル量を減算)	各対象年度の食品廃棄物排出量を下表数値以下に削減すること(2019 年度対比での食品廃棄物排出量の削減率を下表数値以上にすること)		
	対象年度	食品廃棄物排出量	削減率
	2023 年度	8,000トン	7.3%
	2024 年度	7,950トン	7.9%
	2025 年度	7,900トン	8.5%
	2026 年度	7,850トン	9.0%
			

(※1) ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)

欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会であり、60 ヶ国以上に属する 700 以上の機関が加盟しています。

(※2) サステナビリティ・リンク・ローン原則等への適合性および設定した KPI と SPTs の整合性についての第三者意見

株式会社日本格付研究所のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

以上